



発行所
 山形県立寒河江工業
 高等学校 P T A
 山形県寒河江市緑町148番地
 電話 (86) 4278

第 62 号
 平成22年2月15日



平成二十一年度も残すとこ
る僅かとなりましたが、本年
度の事業も計画通りに遂行す
る事ができ、これもひとえに
保護者の皆様方や先生方の P
T A 活動に対する深いご理解
とご協力の賜物と感謝申し上
げます。

今年度を振り返りますと社
会情勢が非常に不透明で景気
回復が遅れる中、混迷の感が
拭えず、就職・進学活動にも
影響がありました。また新型
インフルエンザが猛威を振る
った一年で
した。

本校を振
り返ります
と文武両方
において活



PT A 会長

木村 博 明

り、また全
体の参加者
も大勢の皆
様から本校
に足を運ん
で頂きました

躍された一年ではなかったで
しょうか。陸上部のインター
ハイ出場や土木科のサーベイ
コンテスト県優勝等、輝かし
い成績を収めました。また P
T A の方では四月の P T A 総
会、授業参観では多くの保護
者の皆様から参加をして頂き、
昨年度よりも参加率で約 10%
以上の向上が図れ、非常に良
いスタートが切れたと思いま
す。六月末からは P T A 懇談
会が各地区で開催され先生方
との懇談を図りました。また
親子ボランティアを通して奉

一年を振り返り

仕活動も実施しました。七月

には親子球技大会が開催され
ソフトボール、バレーボール
のスポーツを通しての親子や
保護者同士の親睦・交流が図
られました。九月には寒河江
神輿祭りへのハイテク神輿で
の参加を通して子供達と一緒
に神輿祭りを盛り上げ、地域
に根差した寒工をアピールす
る事が出来ました。十月の大
寒工祭では多くの保護者や先
生方より P T A 作品展示コー
ナーに秀作・力作の出品があ

た。この様に一年を振り返り
感じる事は、本当に多くの会
員の皆様に積極的に参加頂き
「学校・家庭・地域」が連携
した P T A 活動が出来たと思
いますし「全員参加の P T A
活動」に近づけた思いがしま
す。

今後とも今年度以上に将来
を担う子供達の為に、積極的
に P T A 活動に参加して頂き
ますよう、ご協力を宜しくお
願いします。

各専門部より

PT A 活動を振り返って

総務部部長 松田政美

平成二十一年度を振り返り、
P T A 活動への参加率は、先
生方をはじめ保護者の皆様方
のご協力により、今年度も増
加傾向にあり大変嬉しく思
います。また、今年度の十月に
は三年に一度の大寒工祭とい
うイベントがありました。が、
皆様ご存知の通り、世界中を
震撼させた新型インフルエン
ザが、この時期に流行してし
まい本校のイベントにも影響
が出るのではないかと心配し
ましたが、皆様の熱気で大成
功に終る事が出来ました。ど
うもありがとうございます。
私は、伝統ある寒河江工業
高等学校の P T A である総務
部長を任せられた時は大変不安
でしたが、皆様のご協力によ
りここまで出来ました。どう
もありがとうございます。

平成二十一年度

活動内容を振り返り

育成部部長 柴田正明

六月交通事故撲滅運動マナー
アップ運動で街頭指導を行いま

した。早朝のせいか元気が無
い感じがしました。九月は寒
河江みこし祭りにおける防犯
指導で午後集合で先生及び関
係者の方々より内容の説明を
頂き各人所定の位置で指導に
当りました。みこし祭り終了
時路上の清掃等を行いました。
みこし祭りの盛り上がりは影
には関係者の多大な尽力を知
った一日でした。十月村山地
区高 P 連研修会に参加、高校
生の現状を知る良い機会を頂
きました。同月大寒工祭登校
時声掛け運動を行いました。
最後に関係者の皆様には健全
育成の推進に尽力頂きありが
とうございました。

PT A レクリエーション 大会を振り返って

体育部部長 齊藤好弘

男子第三十二回、女子
二十九回と伝統ある P T A レ
クリエーションを振り返って、
当日最初は、天気も良く熱い
戦いを繰り上げていたのです
が、昼頃から 予想もしない
土砂降りの雨の為、グラウンド
コンディションが最悪の状態
になってしまいました。また

勝負がついていませんでした
が、大会の責任者として中止
という決断を下す事になり、
急遽ジャンケン大会をする事
に。バレーボールも各地区、
団結し盛り上がりつつ様です。
今後も伝統ある寒河江工業 P
T A レクリエーション大会、
地区や親と子が一体となり絆
を深めて欲しいものです。

PT A 活動を振り返って

文教部部長 西長和彦

平成二十一年度の P T A 活
動もあと少しとなりました。
本年度も地区 P T A 活動か
ら始まり、地区の皆様、学年
や学級の皆様、そして、先生
方等との関わりの中で、いろ
いろな面で勉強させていただきました。
文教部では、本年も二度の
P T A 新聞の発行を行いました。
慣れないことながら、P
T A 活動や子どもたちの様子
を、より多く分かりやすく伝
えるよう心掛けました。P T
A 会員の皆様には、より一層
P T A 活動へのご理解をいた
だき、参加していただければ
と思います。最後になります
が、新聞作成にあたりご協力
をいただきました皆様、本当
にありがとうございます。

保護者の皆様には、本校の教育活動に対して御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございます。

平成二十一年度が終わろうとしております。国の内外でいろいろな事が起きました。世界的経済不況、政権交代、新型インフルエンザの流行など学校にも影響が大きいものばかりです。

本校での出来事を振り返ると、まず十月に三年に一度の大寒工祭がありました。大寒工祭は、プロレスの実演や講演会から始まり、クラス企画やイベント、そして近隣から多くの来場者があつた一般公開へと盛り上がりを見せました。生徒と教師の力が結集され、その成功に自信と誇りが持つことができました。



校長

吉田 敏明

二十一年度を振り返って

そして本校の「ものづくり産業担い手育成モデル事業」の取組みの様子は先にパンフレットを配布してあります。工業団地に隣接しているという条件を生かして企業実習などを実施して成果をあげています。またOSSの開発や普及に貢献したことで、情報技術科が「日本OSS奨励賞」を受賞しました。

いろいろなことで、地域とのつながり、人とのつながりを感じました。

昨年には「天地位人」がブームになりました。「天人」とは「天の時、地の利、人の和」を大事なこととしています。正しくは「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」であつて、最終的には人の和つまり人の心の団結力が最も大切だと教えています。今後とも寒工高は地域との連携の中で、地の利を活かし、人の和を築いていきたいと思ひます。どうぞよろしく願ひします。

新型インフルエンザの流行がありました。大寒工祭が終わつたところで、一週間の臨時休校としました。十二月まで四割近くの約百六十人が罹患しました。近隣の中学校で臨時休校などをしていたので感染するのはあつたという間でした。

総務部

平成二十一年度 学校評価アンケート

総務部長 沼澤 寿美

会員の皆様、アンケートの御協力に感謝します。

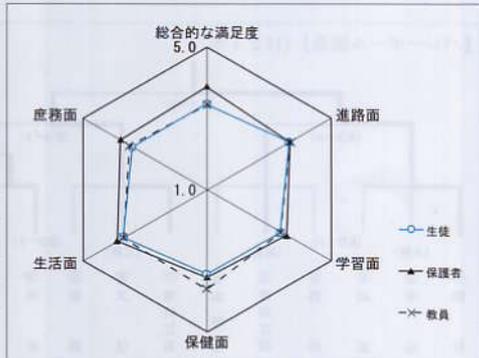
アンケート結果は表の通り、概要は次の通りです。

◎保護者・生徒では全項目とも昨年度以上の数値でした。

◎全体では、前年度より0.3アップの項目が①キャリア⑦家庭学習・④社会参加です。全体として高い評価を頂きました。

今後、記述部分を含めて結果を分析総括して来年度に生かして参りたいと思ひます。

進路面	5:よい	4:少しよい	3:普通	2:やや不十分	1:不十分
1 生き方や生涯設計を自ら考える「キャリア教育」において、本校の取組みはどうでしたか。	3.6	3.9	3.6	3.7	3.7
2 進路指導において、本校からの情報提供の取組みはどうでしたか。	3.7	3.6	3.8	3.7	3.7
3 進路指導において、生徒の希望や適性などを生かす本校の取組みはどうでしたか。	3.7	3.6	3.7	3.7	3.7
学習面					
4 コースや科目の選択において、本校からの情報提供の取組みはどうでしたか。	3.6	3.5	3.2	3.4	3.4
5 校外学習(インターシップ・セミナー・工場見学・修学旅行等)で、本校の取組みはどうでしたか。	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1
6 本校では個人を大切に、分かり易い授業に心掛けていますが、取組みはどうでしたか。	3.4	3.6	3.6	3.5	3.5
7 自宅や放課後などでの家庭学習において、本校の取組みはどうでしたか。	2.6	3.2	2.5	2.8	2.8
8 学習成績の評価において、本校での評点・評定の適正さや妥当性はどうか。	3.4	3.6	3.3	3.4	3.4
保健面					
9 保健活動(保健や健康・安全指導など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.6	3.6	4.0	3.7	3.7
10 個別相談やカウンセリング活動などにおいて、本校の取組みはどうでしたか。	3.2	3.4	3.6	3.4	3.4
生活面					
11 生活指導(マナー向上や事故防止など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.5	3.6	3.3	3.5	3.5
12 生徒会活動(部活や委員会など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6
13 学級活動(学校祭・クラスマッチ行事や清掃など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.8	4.0	3.7	3.8	3.8
14 社会参加(みこし・校外発表・刺繍寄贈・若草の道等)で、本校の取組みはどうでしたか。	3.9	4.3	4.0	4.1	4.1
庶務面					
15 PTA関連(地区懇談会・総会・ボランティア・レクリエーション等)で、本校の取組みはどうでしたか。	3.4	4.0	3.8	3.8	3.8
16 校地・校舎の環境美化や整頓において、本校の取組みはどうでしたか。	3.3	3.7	3.5	3.5	3.5
17 事務関連(手続き・金銭管理・応対など)において、本校の取組みはどうでしたか。	3.3	3.8	3.5	3.6	3.6
18 本校の教育方針において、生徒・保護者のとらえ方や理解はどうでしたか。	3.4	3.5	3.2	3.4	3.4
総合的な満足度					
19 総合的に、本校への満足度はどうか。	3.4	3.9	3.4	3.6	3.6
(表の値は平均値)					
全平均					
	3.5	3.7	3.6	3.6	3.6





村山地区高P連研修会に参加して

PTA副会長 酒井原 康志

十月六日に「第38回村山地区高P連研修会」が山形国際交流プラザを会場に開催され、本校から木村PTA会長はじめ八名で参加いたしました。当日は、山形県男女共同参画センター・チェリア館長の金澤和子先生の講演に始まり、県立寒河江高校と県立山形西高校より研究発表が行われました。

発表の中で、気になった内容がありましたのでここでご紹介いたします。

それは、携帯やパソコンの使用料金も小遣いの一部であると子供に認識させるべきではないかということです。

携帯もパソコンも確かに便利な情報ツールではありますが、月々の料金となると、家計の面でも結構なウエイトになっていると想像出来ず。ましてや、小遣いとなれば普段使うより多くなるのではないのでしょうか。また、携帯で定額割の場合、金銭感覚が麻痺して使用している可能性もあります。

そういった意味からも、子供に請求書を見せるなどで利用状況を把握してもらう事は必要だということでした。今大会では、他にも沢山の事を学ぶことが出来ました。これらを今後のPTA活動にいかしていく所存です。ご協力の程宜しくお願いいたします。



柴橋地区
ボランティア活動
柴橋地区 柏倉 登



PTAボランティア活動は、地域に根ざした寒河江工業高校ならではのものであり、大きな意義を感じております。高校生ともなると、なかなか親との会話や一緒に行動も少なくなってきました。ほんの一時ではありますが、子供とのコミュニケーションをとる機会にもなっています。柴橋地区のPTA活動は、毎年、七月下旬に、各地区にわかれてカーブミラー清掃を行なっています。朝六時三十分集合で子供達は、まだ眠そうな顔で集合して、親子でカーブミラー清掃作業を行います。

この様なボランティア活動の経験が、子供達の将来に何らかの形でプラスになることを期待しています。

ボランティア・シリーズ

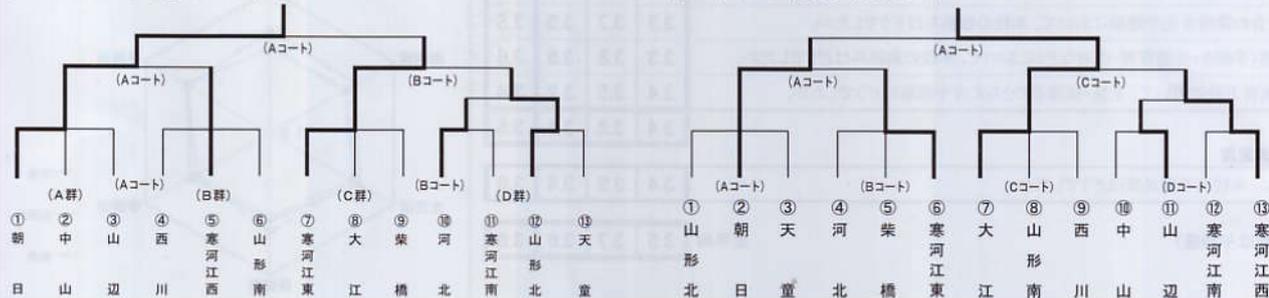
中央公園の親子ボランティア

河北地区 木村 吉彦

九月二十七日(日)AM五時五十分、町の中央公園集合で今年度の『親子ボランティア活動』は始まりました。集合時間が早かったので時間ギリギリの人、起き抜け顔の人など保護者も生徒もそうでした。河北地区は町の社会福祉協議会が主催する事業の一環としての『ボランティア活動』に寒河江工業高校河北地区PTAとして参加している次第です。参加者は町で活動しているさまざまな団体の一員です。その集まりが一つの作業を行うという町の大きな事業です。仕事は公園内の草、ゴミなどを除去してきれいにするという作業です。保護者の方々は、七月の球技大会以来の集まりなので、近況の報告会という雰囲気もあり、生徒はじめ保護者の方々も楽しくボランティア活動をして頂きました。怪我などもなく大変良い結果で事業が終了しました。今年度の参加者は、親子で約五十名でした。参加者の皆様方ご苦労様でした。

【バレーボール結果】(H21年)

【ソフトボール結果】(H21年)



トーナメント表

おめでとう! 国家技能検定二級合格

電子機械科 本木 伸 秀

今年度も国家技能検定試験に本校から多数の生徒が受験し合格しました。技能検定には前期試験と後期試験があります。本校生は機械系や電気・電子系の検定職種に挑戦し、ここ数年二級三級ともに合格者が出ています。

今回はその前期試験である

技能検定二級電子機器組立作業で、電子機械科三年の丹野貴博君が難関を乗り越え見事合格しました。山形県内の高校生で二級に合格したのはたった二名で、本校の丹野君はその中の一人であります。三級の試験にも四職種に二十九名の生徒が合格しました。その中で十一名が二年生です。三級の合格者は翌年、二級に挑戦できますので是非、丹野君の後に続いて高校在学中に二級技能士に挑戦してほしいと思います。

検定試験を受験し合格に至るまでには多くの先生方のご指導、ご協力があったからだと感じています。中でも本校のクラブトマン事業に賛同し



お忙しい中講師を引き受けていただいた指導者のみなさんのおかげであると感謝しています。生徒自身の努力はもちろん、先生方や本校を支えて下さる卒業生、地域企業のみなさんご指導のおかげでこのような成果が上げられたと思います。

後期試験においても技能検定二級シーケンス制御作業に挑戦する三年生の生徒がいます。合格発表は卒業後になるようですが、最後の最後まであきらめず頑張ってくださいと思います。今後多くさんの生徒が技能検定に挑戦し、技能を磨いて資格を取得してもらいたいと思います。

修学旅行「感謝」

二学年主任 佐藤 繁 樹

この度の修学旅行は新型インフルエンザ流行拡大の中での実施となり、保護者の皆様をはじめ関係者の方々には、ご心配をおかけしました。生徒達も旅行出発直前まで中止も視野に入れた行動が必要となり、やや落ち着かない雰囲気の中での出発となりました。

この旅行が無事に終わることができましたのも旅先まで、または旅の途中まで迎えに来てくださった保護者の方をはじめ、旅行中、山形で後方支援をしてくださった保護者の方々、教職員のお陰とっております。深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

旅行行程は初日は奈良の法隆寺と東大寺。二日目はクラス別見学。山形では見ることでできない産業を見学。道頓堀のグリコ前での記念撮影や大阪城の見学など、各々のクラスがそれなりに楽しんだ一日でした。三日目は京都市内の班別研修。見学箇所として人気があったのは清水寺・金閣寺でした。最終日はUSJに行つての帰着。あつという



学校生活を振り返って

前生徒会長 大沼 功二

学校生活を振り返ってみると、本当にあつという間に終わってしまったような気がする。

入学して最初の頃は、同じ中学の友達としか話せず、中学生の生活を懐かしむ毎日だった。しかし、一ヶ月が過ぎるとクラス中の人と友達になっていった。そのような出来事から早くも二年がたち、もう学校を卒業してしまう。この三年間は本当に楽しかった。特に今年度の大寒工祭は最高の思い出になった。今年度は三年に一度の大寒工祭なので全校生が楽しめる企画を夜遅くまで考え、準備をした。

その結果三日間とても楽しい大寒工祭になったと思う。この成功には、学校の生徒全員が携わっている。みんなが一生懸命に頑張る準備してくれたから、大成功になったと思う。私は全校生徒全員に感謝したい。

私は寒河江工業高校の生徒で本当に良かった。私たちのために真剣に勉強を教えてくださいました先生方、三年間一緒に過ごした仲間たち、私たちに頼りにしてくれる後輩たち、本当にありがとうございます。

私の家は中学校から、すぐ近くにあり、学校の放送がよく聞こえます。授業が終わり、家に帰ったとしても、電話で呼ばれるのではなく、学校の放送に気づいて学校に戻ったことが何度かあります。高校生時代、特に二年生の冬頃から、朝早く登校していました。そのため、学校が開いて



新任の先生より

学生時代の思い出

教諭 佐藤 琢磨
 生活での、クラスメートとの何気無い会話が今では楽しい思い出になります。

保健部より

「新型インフルエンザ」元年

今回、日本中いや世界中を騒がせた新型インフルエンザは、本校にとっても例外ではありませんでした。十月末の学校祭をきっかけに罹患生徒が急増。二日で三十名に達する勢いとなり、臨時休校を余儀なくされました。二期一杯は、連日のように新患の連絡を受けましたが、三学期に入ってからの新患は今の所「ゼロ」。ようやく落ち着いてきたかなという状況です。

先月末までのインフルエンザ罹患患者数は、一六三名。全校生の三七%で、三人に一人

おらず、昇降口で友達とおにぎりを食べながら待っていた記憶があります。学生時代、学校祭や体育祭などの、様々なイベントがありましたが、日々の生活での、クラスの

が罹患していることになりました。しかし残念ながら、これは終生免疫（一度罹ったら一生かからない）ではありませんが。ある情報によると「新型」の免疫は約半年とか・・・安心した頃に、また次の流行が来るのではないかと懸念されます。未知の世界を持つ「新型」だけに、油断は禁物。高校生のワクチン接種も始まりました。引き続き地道な予防対策をお願いいたします。



卒業を迎えて

三学主任 中村 和彦

三年間を素晴らしい生徒と共に楽しく充実した日々を送ることができました。これも保護者の皆様や地域の方々からのご協力があったからだと思います。

今年度は世界的な経済不況で求人数は大幅に減少し、就職希望者は大変な難関を突破しなければなりません。しかし、諦めることなく、自分の適性を見極め進路を決

厳しい就職環境をのりこえて

進路指導部長 阿部 繁憲

二〇〇八年九月に起こったリーマンショック以来、世界経済は急激に冷え込み、前号でお伝えしたように求人数は激減し、民間企業の合格内定率も急激に低下しました。

一月二十五日現在の県内求人数は二二三件（昨年度のおよそ半数）、県外求人数は一七七件（昨年度の約三分の一）です。とりわけ県外の就職受験は厳しく、来年度受験を希望する人は、十分な力をつけて臨まなければなりません。

定することができました。三年間のキャリア教育の成果と幸いです。

授業や学校行事、部活動を通して心身ともに成長できたことは嬉しいことです。仲間と共にものづくりに取り組み完成したときの満足感、苦しい練習に耐えて試合で一勝できたときの喜びなど沢山の思い出を作って卒業していきま

就職試験で不合格者が増加する中、生徒も先生も大奮闘しました。三年生の担任団は、九月下旬から十月半ば頃まで連日昼休みに学年会をし、連絡を取り合い即座に適切な対応をしてきました。

進学希望者については、一部医療系や倍率の高い大学を除いて、概ね第一希望で合格できました。県立産短大校と山形職業能力開発校には例年になく希望者が多かったものの、結果的に多くの人が合格できたことはとても喜ばしいことです。

皆さん、いい仕事をして輝いてください。

編集後記

今年度も、たくさんのPTA活動・学校活動がありました。

PTA活動では、地区・学年の活動、交通安全に関する活動、生徒校外活動（みこし祭りなど）、地区対抗体育活動などが行われました。どの活動も、PTA事業方針に掲げた通り、「本校の諸教育活動への理解を深め合い、また家庭と学校の協働活動により、生徒の健全育成を図る」という活動になったと感じております。

学校では全国でも大きく取り上げられた、新型インフルエンザや、国家技能検定二級合格、第一種電気工事士合格などの出来事、活躍がありました。

この寒工高PTA新聞が、PTA皆様の親睦と寒河江工業高校の益々の発展に役立つことを願っております。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

(編集委員)

